



南東北

第316号

院是「すべては患者さんのために」

- ・一般財団法人脳神経疾患研究所
- ・社会福祉法人南東北福祉事業団
- ・医療法人社団三成会
- ・医療法人社団新生会
- ・医療法人財団健貢会
- ・社会医療法人将道会
- ・医療法人謙昌会

URL:<http://www.minamitohoku.or.jp>
E-mail:pr@mt.strins.or.jp

大腸がんのお話〜予防から治療まで〜

大腸がんになる人が増えています。しかし、医学の発展で治療は年々進歩しています。5月18日(金)に開かれた総合南東北病院の5月医学健康講座では同病院の高野祥直副院長(外科)が「大腸がんのお話〜予防から治療まで〜」と題して講演しました。講演内容を要約し、大腸がんに関する最新情報と予防法、治療法を紹介します。

5月医学健康講座

なかつた不要なものを便として排泄する働きをします。大腸は場所によって盲腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸と分かれています。がんは昭和56年から日本人の死因の第1位で、最近では総死亡の約3割を占めています。平成26年は36万8103人ががんで死亡しました。このうち大腸がんによる死亡者数は、男女合計5万6000人で、肺がんに次いで2番目に

多い数でした。大腸がんの危険因子には老化、食生活の欧米化、たばこ、過度の飲酒、運動不足、肥満、遺伝などが挙げられます。つまり、大腸がんにならないためには「繊維質を多めに取る」「お酒はほどほどにする」「禁煙する」「適度な運動をする」などの生活習慣を心がけることが大事です。次に大腸がんの症状と早期発見の重要性を話します。進行した大腸がんの症状で多く見られるの

治療は年々進歩 早期発見 90%治る

は排便の異常と腸閉塞です。排便の異常は、血便、痔の患者さんには要注意)、便が細い、下痢と便秘を繰り返す、便が残っている感じがするなどです。腸閉塞症状は、お腹の張り、腹痛、嘔吐などです。このほか体重減少、しこり、貧血などの症状も大腸がんが疑われます。これらの症状があれば、早めに医療機関で受診してください。大腸がんは早期の場合、ほとんどが無症状ですが、

この時点で治療すると90%以上は治ります。従って大腸がん検診で早期発見することが極めて重要です。郡山市では大腸がん検診でがんが見つかった人のうちの約6割は早期がんでした。

大腸がん検診で年1回か2年に1回の便潜血検査を行い、便潜血が陽性だったら必ず大腸カメラを受けることです。大腸カメラは最も確実にがんを発見できます。当院ではPET検査と便潜血検査を組み合わせた検診も行っています。

今月号のなかみ

- ▶ 2面=健康生活情報ナビ、最近よく聞く言葉、1面つづき
- ▶ 3面=こころと健康、発酵パワー、がん患者サロンほっと
- ▶ 4面=(仮称)南東北創薬・サイクロトロン研究所工事進む、乳幼児の中耳炎
- ▶ 5面=総合南東北福祉センターだより、ゴールドメディ
- ▶ アだより、陽子線治療実績
- ▶ 6面=子どもの夏かせにご用心、ボランティア「紙ふうせん」総会、5月の手術件数・救急車台数、7月の健康講座
- ▶ 7面=増子輝彦さんのコラム、相談課からのメッセージ
- ▶ 8面=元気レシピ、薬局だより、編集後記

(2面につづく)

次に大腸がんの治療についてお話します。大腸がんは、周囲に広がる浸潤とリンパ節や臓器などに転移することで病気の進行度(ステージ)が決まります。ステージは0からIVまで段階的に分けられますが、段階に応じて治療方法が変わってきます。ステージ0は内視鏡治療、I、IIは手術、IIIは手術と抗がん剤治療、IVは抗がん剤中心となります。IVだから治らないという訳ではありません。

講演する高野副院長

